真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月12日

事務事業名	スポーツ振興事業		担当課・係	教育委員会　スポーツ振興課　指導係
政策名　No	1	「人づくり」～豊かなこころアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	6	生涯スポーツ・レクリエーションの振興		

成果指標

名　称	初年度からの実績値の比較 単　位	R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
何らかのスポーツ・レクリエーションを行っている市民の割合	%	62.6					

事業内容

①真岡井頭マラソン大会
市内をはじめ関東地区を中心に全国各地のマラソン愛好者から親まれ、申込者数約２，０００人に及ぶ本市の秋の一大イベントとして定着しており、新型コロナ後の開催では申込者数が２割以上減少してしまったが、市制施行７０周年記念事業として開催した前回大会は申込者数がおおむね回復することができ、賑わいの創出に貢献している。
②スポーツ教室運営事業
ニーズに合わせて広く市民が参加できるよう内容の見直しを進めることで、定員に対する申込者の割合は順調に伸びており、生涯スポーツの推進とスポーツ人口の拡大を図るため、市民ひとり１スポーツを目指しニーズに対応した教室の開催に努める。
③栃木ゴールデンブレーブス市民デー開催
プロスポーツを通じて市民のスポーツへの関心を高め、「市民ひとり１スポーツ」の推進を図る。
④ユニバーサルスポーツ(障がい者スポーツ)普及推進事業
年齢や性別、障がいの有無にかかわらず誰もが手軽に楽しむことができる「ユニバーサルスポーツ」の普及を目指し、ボッチャなどの用具の貸し出しや、スポーツ教室において実施したり、スポーツ推進委員の協力をえて出前講座などで体験する機会を設ける。

前年度の課題（Check）

①真岡井頭マラソン大会
今回大会から開始したキッチンカーをはじめとした出店の一般募集は今後も継続し、賑わいの創出拡大を図る。物価高騰による諸経費の増額に対応するため、協賛金等の増額に向けて尽力していく。
また、大会のＰＲについては、既存手段の拡大と新たな方法の導入を進めていく。
②スポーツ教室運営事業
各専門部の役員及び会員の高齢化及び会員数が減少傾向であるため、各専門部でそれぞれ対応策を検討している。
また、学校部活動の地域展開におけるスポーツ協会の受け皿部分についての協議検討を進める。

７年度振り返り

【１】実績（Do）７年度に実施した事業
①真岡井頭マラソン大会
井頭公園を発着として2㎞･4㎞･10㎞の3コースを設定するマラソン大会。市民をはじめ県内外から多くの参加者を迎え、市民ひとり1スポーツの推進と市のPRを実施した。
・令和7年10月5日(日)開催、大会参加申込者数：1,765人(市内540人、県内859人、県外366人)、協賛63者(協賛金610千円、賞品提供等9者)
令和８年度の開催方法とそれ以降のあり方について、陸上競技関係者等の意見を参考に素案を作成し、準備委員会を開催し協議を行った。
②スポーツ教室運営事業
市民ひとり１スポーツの定着化を目指し、生涯スポーツの推進とスポーツ人口の底辺拡大を図るため、市民各層に対応できるよう、初心者を対象としたスポーツ教室を開講した。次年度実施種目の選定に活かすため、教室終了後に参加者アンケートを実施した。
また、継続的に行ってもらうため、既存の愛好会等の紹介を必要に応じて行った。
・開催教室数：28教室(新規３教室、廃止2教室)、申込者数：607人、申込率：95.6%、参加者累計：1,265人
③栃木ゴールデンブレーブス市民デー開催
・令和7年7月19日(土)真岡ハイトラ運動公園市民球場にて開催
④ユニバーサルスポーツ(障がい者スポーツ)普及推進事業
・ユニバーサルスポーツ用具貸出：ボッチャ２回
・ニュースポーツ教室におけるボッチャ体験会の実施１回
・スポーツ推進委員によるボッチャ指導の研修会の開催１回

【２】結果と課題（Check）
①真岡井頭マラソン大会開催事業
・令和8年度は工事に伴い井頭公園にてマラソン大会を開催できないため、会場を移動し新コースでの開催を検討する。
②スポーツ教室運営事業
・アンケート結果やスポーツへのニーズの変化等を踏まえ、開催教室の精選と実施内容の見直しを行う。
・児童向けの教室について、参加者の安全と指導効率向上のため、指導体制の見直しを行い十分な指導者数を確保する。
③栃木ゴールデンブレーブス市民デー開催
・次年度も同様に開催し、野球をとおして市民のスポーツへの関心を高める取り組みを継続する。
④ユニバーサルスポーツ(障がい者スポーツ)普及推進事業
・体験会等をとおして、引き続きボッチャを中心にユニバーサルスポーツの普及を推進する。
・スポーツ推進委員の研修等において、新規種目を開拓する。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　■ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【３】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
①真岡井頭マラソン大会開催事業
・新コースでのマラソン大会開催に向けた準備を進める。
②スポーツ教室運営事業
・児童向けの教室について、指導者へ指導体制の確認を行い、計画への反映作業を進める。
③栃木ゴールデンブレーブス市民デー開催
・2026シーズンにおける開催日時の調整を行う。
④ユニバーサルスポーツ(障がい者スポーツ)普及推進事業
・スポーツ推進委員と協力し、新規種目の検討を行う。

（2）長期的な計画で検討すること
①真岡井頭マラソン大会開催事業
・新コースでのマラソン大会について、各専門家や地域の理解を得ながら、翌年以降も継続して開催できるようブラッシュアップを継続する。
②スポーツ教室運営事業
・真岡ハイトラ運動公園指定管理者と協力し、発展的なよりよい教室を計画する。
③栃木ゴールデンブレーブス市民デー開催
・チームの協力を得ながら、市民のプロスポーツへの関心を高めつつ、本市のPRを拡大する。
④ユニバーサルスポーツ(障がい者スポーツ)普及推進事業
・年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、より多くの市民が共にスポーツを体験できる機会を設ける。